



ユーザーマニュアル

Ver 1.0.0



株式会社 エヌエスアイ

1. 改訂履歴

Ver	発行日	改訂内容
1.0.0	2025/05/13	初版発行

2. 目次

1. 改訂履歴	2
2. 目次	3
3. お使いになる前に	5
● ご利用にあたってのお願い	5
4. 製品構成	6
5. 保証について	7
6. 取り扱い上の注意	8
7. NODE:無線 Wi-Fi 接続方法	9
8. NODE:有線 LAN 接続方法	12
9. Android 端末(スマートフォン):Wi-Fi 接続方法	13
10. Android 端末(スマートフォン):アプリ起動・終了方法	14
● 起動方法	14
● 終了方法	14
11. Android 端末(スマートフォン):アプリ基本説明	15
● 設備通知	15
● 稼働情報	15
● 履歴	16
● ノード接続	16
● 設定	17
補足:ログ表示	17
12. スマートウォッチ:アプリ起動・終了方法	18
● 起動方法	18
● 終了方法	18
13. スマートウォッチ:アプリ基本説明	19
● 基本画面	19
● 設定画面	19
14. Excel:稼働情報ファイルについて	20
● 基本画面	20
● 操作方法	21
稼働情報ウィンドウの詳細	21
設備定義追加	21
定義ファイル生成(CSV)	22
定義ファイル転送	22
補足:デバイス定義について	22
15. Excel:通知設定ファイルについて	23

● 基本画面	23
● 操作方法	24
通知設定ウィンドウの詳細	24
定義ファイル転送	24
補足：デバイス定義について	25
● 定義時の注意点	25
16. NODE-TOOL Config: NODE ツール設定アプリについて	26
● 基本画面	26
● 操作方法	27
17. ログの収集方法	30
● NODE の収集方法	30
● Android 端末(スマートフォン)の収集方法	30
18. ライセンス情報	32
● Android 端末(スマートフォン)	32
OkHttp	32
ViewPager2	32
● NODE	32
Python	32
websockets	32
● NODE-TOOL Config	32
SSH.NET	32

3. お使いになる前に

本書は、製品の利用にあたって必要な情報をまとめたユーザーマニュアルです。製品を安全かつ正しくご利用いただくために、ご使用前に内容を必ずお読みください。

本説明書は、製品に関する基本的な操作方法、仕様、注意事項等を掲載しています。必要に応じて、パソコン・タブレット等で表示するか、印刷してご確認ください。

最新版のユーザーマニュアルは以下の URL よりダウンロード可能です。

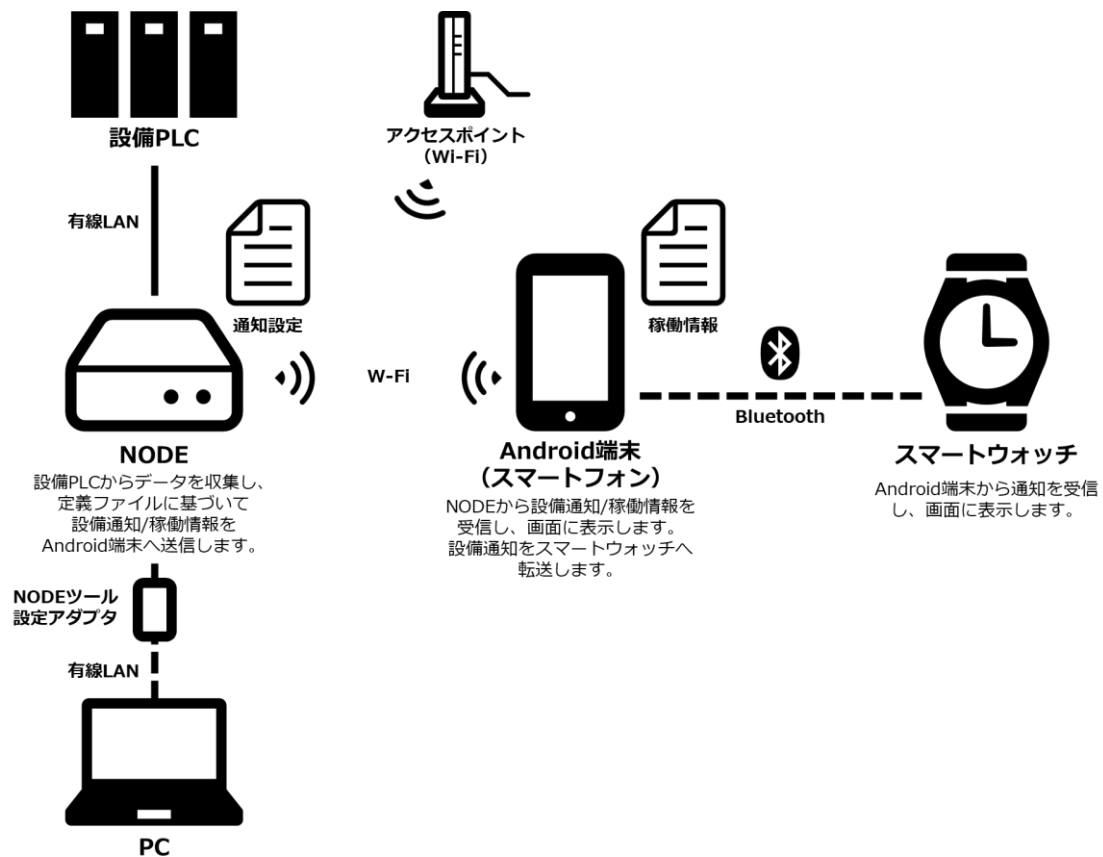
<https://nsi-freak.com/product/esmartlink/manual/>

- **ご利用にあたってのお願い**

- 本ユーザーマニュアルに記載されていない使用方法による動作は保証いたしかねます。
- 本ユーザーマニュアルは製品の改良などにより、予告なく内容を変更する場合があります。
- 内容についてご不明な点がありましたら、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- 本ユーザーマニュアルの一部または全部を、無断で転載・複製することを禁じます。
- 本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

4. 製品構成

本製品の基本的なシステム構成は以下の通りです。(設備 PLC, PC は製品に含まれません。)



各部の型式

名称	型式	数量	備考
NODE	END-PSBC1	1 台	電源アダプタ付属
Android 端末 (スマートフォン)	EMD-PKDX1	1 台	
スマートウォッチ	EMD-PSWA1 または EMD-PSWB1	1 台	
NODE ツール 設定アダプタ	END-PTAP1	1 台	オプション品

5. 保証について

本製品には、以下の保証が適用されます。

① 保証期間

保証期間は、お客様による製品納品日から **1 年間** です。

② 保証の範囲

本製品は、次の条件をすべて満たす場合に保証するものとし、代替品との交換または修理を無償で実施いたします。

- 当社より納入した当社製品に関する故障または不具合であること。
- 保証期間中に発生した故障または不具合であること。
- ユーザーマニュアルに記載されている使用方法で使用中に発生した故障または不具合であること。
- 当社製品の仕様の不備・不具合・品質不良を原因とする故障または不具合であること。

ただし、下記に該当する場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

- 誤った使用方法や改造、分解による故障や損傷
- 火災・地震・水害・落雷などの天災、または公害・塩害・異常電圧等による損傷
- 他の機器との接続や使用に起因する障害
- 通常の使用による消耗や劣化（バッテリーなど）
- ユーザーマニュアルに記載されていない方法での運用
- スマートウォッチおよびスマートフォンの OS アップデートによる挙動の変化

③ 保証の対応

- 製品に不具合が生じた場合は、製品のシリアルナンバーを明記の上、以下の URL のお問い合わせページからご連絡ください。

<https://nsi-freak.com/product/esmartlink/manual/>

- 内容により、現物返送・写真提出・ログ情報などをお願いする場合がございます。

④ 保証に関するご注意

- 本保証は日本国内での使用を前提としています。海外での使用や輸出品に関する保証は対象外となります。
- 本保証は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

6. 取り扱い上の注意

① 使用環境にご注意ください。

本システムは、安定した電源供給と適切な通信環境（Wi-Fi / Bluetooth）下での使用を前提としています。高温多湿・粉塵・振動の激しい場所などでは、NODE や周辺機器に悪影響を及ぼす可能性があります。

② 定義ファイルのバックアップをしてください。

誤ったデバイス定義や記述ミスがあると、通知が送信されなかったり、誤作動を引き起こしたりする可能性があります。編集前に定義ファイルのバックアップを取ることを推奨します。また、編集の際はデバイスやビットを慎重にご確認ください。

③ Wi-Fi / Bluetooth 通信の安定性をご確認ください。

NODE, Android 端末（スマートフォン）、スマートウォッチへの通信は、無線通信（Wi-Fi / Bluetooth）を用いています。接続不良や通信遮断が発生した場合、通知の未達や遅延が発生する可能性があります。特に Bluetooth 接続範囲にはご注意ください（推奨 10m 以内、障害物の少ない環境）。

④ 通知内容の時刻にご注意ください。

本システムでは、通知内容として送信される時刻情報は、設備（PLC）側のデバイス時刻に基づいています。そのため、NODE, Android 端末（スマートフォン）、スマートウォッチなどの端末で表示される時刻と一致しない場合があります。通知内容をご確認する際は、使用端末との時刻差にご注意ください。

7. NODE:無線 Wi-Fi 接続方法

初回起動時は Wi-Fi の接続設定が必要となります。

ここでは、PC のコマンドプロンプトから SSH 経由で設定を変更する方法を説明します。

① NODE の電源を入れる

有線 LAN で PC と NODE を接続した状態で、NODE の電源を入れます。

② 接続確認

コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行します。(入力→Enter キーで実行)

```
ping 192.168.177.200
```

応答が返ってくれば、接続は問題ありません。

【OK 時のメッセージ】

```
192.168.177.200 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
```

【NG 時のメッセージ】

```
192.168.177.200 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
```

応答 NG の場合、PC の IP アドレス設定や LAN ケーブルが認識されているかなど、確認を行ってください。

③ ログイン(SSH ログインが理解出来る方向け)

```
ssh user@192.168.177.200
```

入力すると、接続を続行しますか？というメッセージが表示されるため「yes」と入力してください。続けて、パスワードの入力が求められるため「pass」と入力してください。

このとき、コマンドプロンプト上には何も表示されませんが、入力はできているので問題ありません。以下のように表示されれば、ログイン完了です。

```
Last login: Mon Mar 3 15:17:11 2025  
user@raspberrypi:~ $ |
```

④ Wi-Fi 設定ファイルを編集し、無線 LAN へ接続

「user@raspberrypi:~ \$」に続けて、以下のコマンドを実行します。

Wi-Fi 設定ファイルを開く

```
sudo nano /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant.conf
```

実行すると、Wi-Fi 設定ファイルの中身が表示されます。

接続したい Wi-Fi 設定を追記してください。

入力例

```
country=JP
network={
    ssid="TP-Link_F25A"
    psk="78500716"
    key_mgmt=WPA-PSK
}
```

country=JP を記述しないと接続できない可能性があるため、注意してください。

編集が完了したら、「Ctrl + O」で書き込みを行い、「Ctrl + X」でファイルを閉じてください。IP が自動で割り振られ、接続されます。

⑤ 無線 LAN の固定 IP 設定

NODE の無線 LAN を固定 IP 化することで、毎回同じ IP アドレスで接続を行うことが可能です。以下のコマンドを実行します。

ネットワーク基本設定ファイルを編集する

```
sudo nano /etc/dhcpd.conf
```

実行すると、ネットワーク基本設定ファイルの中身が表示されます。ファイルの一番下に設定を追記してください。

入力例

```
interface wlan0
static ip_address=192.168.0.200/24
static routers=192.168.0.1
static domain_name_servers=192.168.0.1
static domain_search=192.168.0.1
metric 100
noipv6
```

⑥ 再起動

以下のコマンドを実行し、設定を反映します。

ネットワーク基本設定の反映

```
sudo systemctl restart dhcpcd
```

PC 上のコマンドプロンプトに「**exit**」と入力すると、ssh 接続が終了します。

8. NODE:有線 LAN 接続方法

無線 Wi-Fi 接続設定が完了したら、有線 LAN の IP 設定も必要に応じて行ってください。

有線 LAN は主に PLC と接続するために使用します。

① NODE にログイン

「4. NODE:無線 Wi-Fi 接続方法 の ①NODE の電源を入れる」の手順を参考に操作を行います。

今回は、無線 Wi-Fi の IP アドレスを使用して ssh 接続を行います。そのため、設定操作を行う PC も NODE と同じ無線 LAN セグメントに属してください。

② 固定 IP アドレス設定

「4. NODE:無線 Wi-Fi 接続方法 の ⑤無線 LAN の固定 IP 設定」の手順を参考に操作を行います。

入力例

```
interface eth0
static ip_address=192.168.177.200/24
static routers=192.168.0.1
static domain_name_servers=192.168.0.1
static domain_search=192.168.0.1
metric 200
noipv6
```

無線 Wi-Fi とは違い、先頭が「wlan0」ではなく「eth0」になるため、注意してください。

③ 再起動

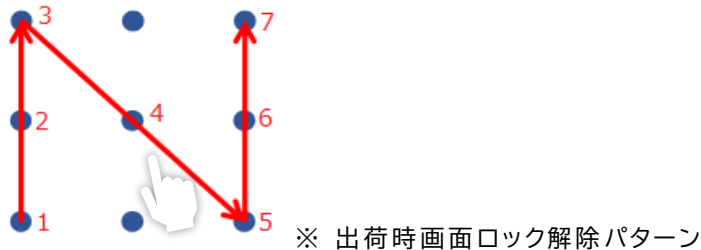
「4. NODE:無線 Wi-Fi 接続方法 の ⑥再起動」の手順を参考に操作を行います。

9. Android 端末(スマートフォン):Wi-Fi 接続方法

NODE との通信を行うため、Wi-Fi との接続が必要です。

① ロック解除

Android 端末(スマートフォン)を起動し、画面のロックを解除します。



② 通知メニューを表示

端末の HOME 画面を上から下にスワイプすると、通知メニューが表示されます。



左上の「インターネット」をタップすると、接続できる Wi-Fi が一覧表示されます。NODE と同様のアクセスポイントを選択してください。

③ Wi-Fi 接続

初回接続時はパスワードが求められるため、入力してください。入力が完了すると、自動的に接続が行われます。



画面右上に Wi-Fi マークが表示されれば、接続完了です。

10. Android 端末(スマートフォン):アプリ起動・終了方法

- 起動方法

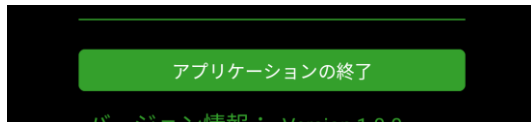
HOME 画面を下から上へスワイプすると、アプリ一覧が表示されます。

「**eSmartLink**」アプリをタップして起動します。



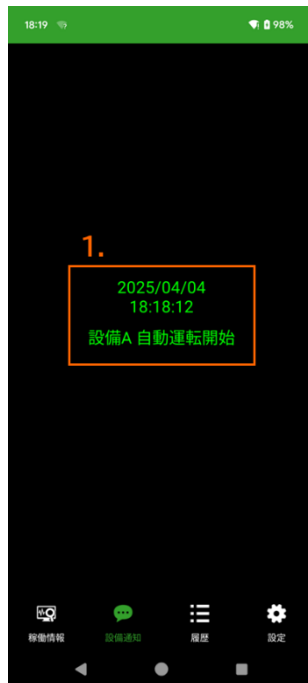
- 終了方法

アプリ内の設定メニューから「アプリケーションの終了」をタップするとアプリが終了されます。



11.Android 端末(スマートフォン):アプリ基本説明

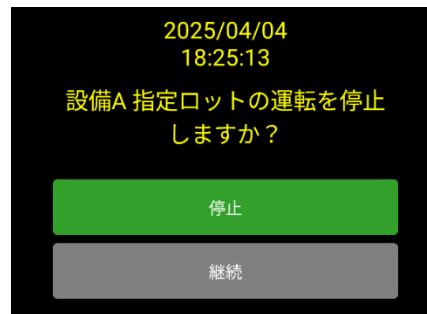
● 設備通知



1.受信通知

NODE から受信した通知を表示します。

また、問い合わせ通知の場合は下にボタンが表示されます。



● 稼働情報



1.稼働情報

各設備の稼働情報を表示します。カードをドラッグして、配置を並び替えることができます。



2.稼働情報再読み込み

稼働情報定義ファイルを再読み込みします。

3.表示切り替え

稼働情報の表示を切り替えます。(タイル / リスト)

● 履歴



1.履歴一覧

過去に受信した設備通知の履歴を表示します。

2.検索ボックス

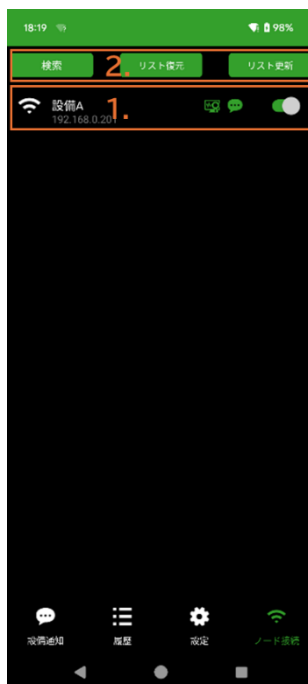
入力した内容を元に履歴を絞り込むことができます。

スペースで区切ることで、AND 検索が可能です。

検索例)「18:18 開始」

「18:18」かつ「開始」というワードを含む履歴を検索する。

● ノード接続



1.ノード接続先

検索した際に、接続可能なノードが表示されます。

アイコンは接続ステータス、スイッチは接続状態を切り替えます。

2.各種ボタン

検索: 接続可能なノードを検索します。

全検索

すべてのノード

追加検索

リスト表示中ノードを除いたノード



リスト復元

前回更新時の接続先を復元します。

リスト更新

表示中の接続先を保存します。

● 設定



1.各種設定

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 端末 IP | 端末本体の IP アドレス |
| <input type="checkbox"/> スマホ振動設定 | 設備通知受信時に振動するかどうか |
| <input type="checkbox"/> 最大履歴件数 | 履歴の最大表示件数 |
| <input type="checkbox"/> SMW 送信周期 | Watch への通知再送周期 |
| <input type="checkbox"/> NODE 再接続周期 | NODE 切断時の再接続周期 |
| <input type="checkbox"/> 心拍数 | Watch から受信した心拍数 |
| <input type="checkbox"/> SMW 送信周期 | 現在の Watch への送信周期 |
| <input type="checkbox"/> アプリケーションの終了 | アプリケーションを終了する |
| <input type="checkbox"/> バージョン情報 | 本アプリのバージョン情報 |

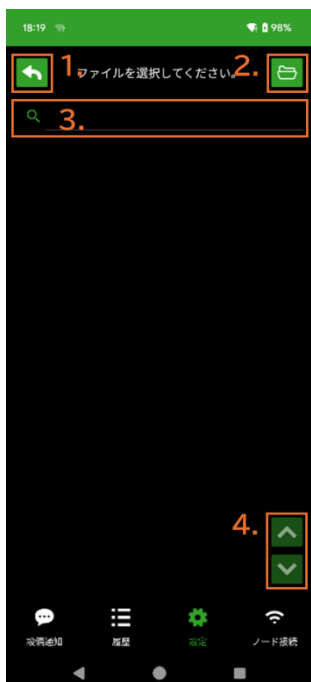
2.各種ボタン

- | | |
|------|-------------------|
| 設定復元 | 最後に保存された設定を復元します。 |
| 設定更新 | 設定を更新・反映します。 |

3.ログ表示

ログを表示する画面を開きます。

補足：ログ表示



1.戻る

設定画面に戻ります。

2.ログ選択

ログ選択画面を表示します。

3.検索ボックス

入力した内容を元に履歴を絞り込むことができます。スペースで区切ることで、AND 検索が可能です。

4.スクロールボタン

ログ表示時に、上下にスクロールを行います。(長押し可)

12. スマートウォッチ：アプリ起動・終了方法

- 起動方法

端末のサイドボタンを押すと、アプリ一覧が表示されます。

「**eSmartLink**」アプリをタップして起動します。



- 終了方法

設定 > アプリと通知 > アプリ情報 から「**eSmartLink**」アプリをタップします。

「強制終了」をタップすると終了します。

13. スマートウォッチ：アプリ基本説明

● 基本画面



上段：スマートウォッチ本体の時刻を表示します。

中段：Android 端末から転送された設備通知を表示します。

下段：心拍数や設定ボタンを表示します。

【心拍数について】

心拍数は、Watch を腕に装着した状態で♥ボタンを押すと測定が開始します。再度ボタンを押す、または1分経過すると測定が終了します。



【問い合わせ通知について】

設備通知を受信した場合、画面を下から上へスワイプすると、応答画面が表示されます。

● 設定画面



通知受信時の振動設定を変更します。

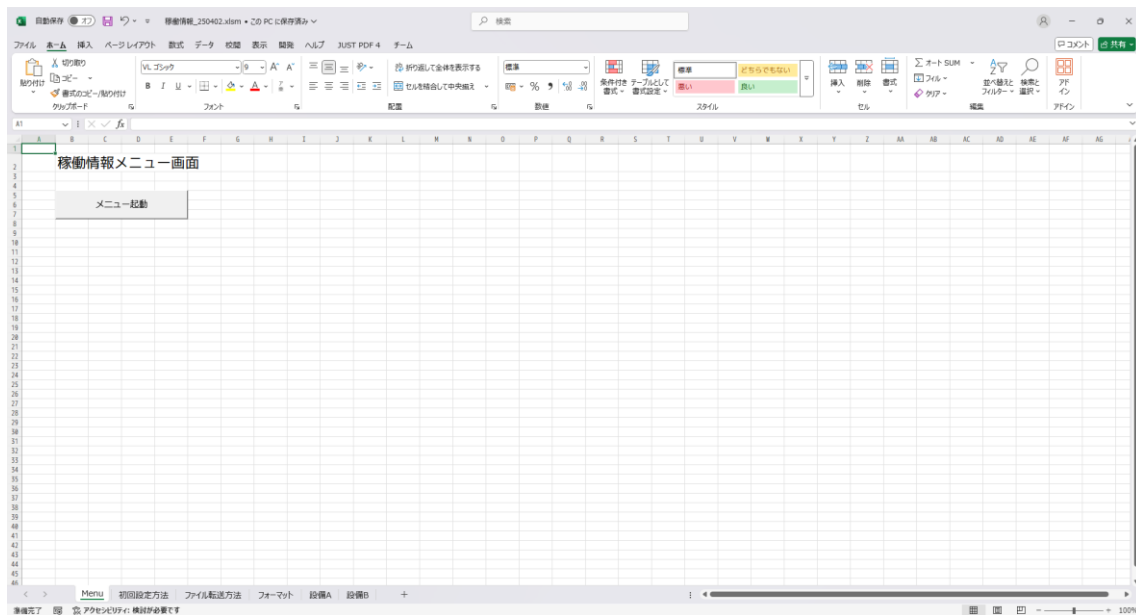
14. Excel:稼働情報ファイルについて

Android 端末(スマートフォン)には、稼働情報を表示するための定義ファイルが必要となります。

● 基本画面

PC 上で「稼働情報.xlsm」ファイルを起動すると、以下の画面が表示されます。

※ Excel がインストールされている PC から起動してください。



各シートの内容は以下のようになります。

1	Menu	メニューを表示する画面
2	初回設定方法	稼働情報ファイル初回起動時の設定方法
3	ファイル転送方法	手動で稼働情報 CSV を転送する際の方法
4	フォーマット	設備定義のフォーマット定義
5	設備 A,B...	各設備の定義 ※定義例のシートのため、不要であれば削除してください。

● 操作方法

Menu シートの「メニュー起動」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。

シートの追加，定義ファイルの生成，転送 はここから操作を行います。

稼働情報ウィンドウの詳細



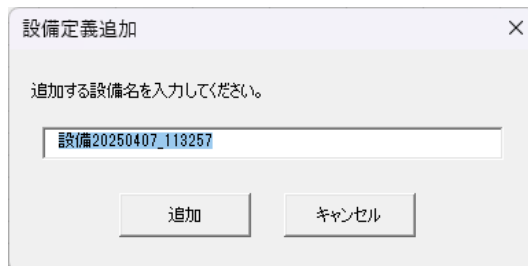
- ・設備定義追加
定義シートを追加します。
- ・定義ファイル生成 (CSV)
定義内容から、定義ファイルを生成します。
- ・バージョン情報
バージョン情報を表示します。
- ・定義ファイル転送
定義ファイルを Android 端末へ転送します。
- ・閉じる
メニューを閉じます。

設備定義追加

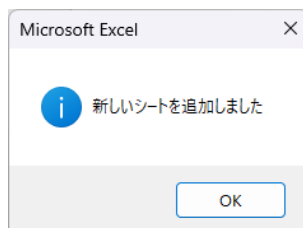
設備の定義シートを追加します。

「設備定義追加」ボタンをクリックし、追加したい設備の名称を指定します。

指定した名称を元にシートを作成するため、既存のシートと重複しないようにしてください。



追加が完了すると、以下のメッセージが表示されます。

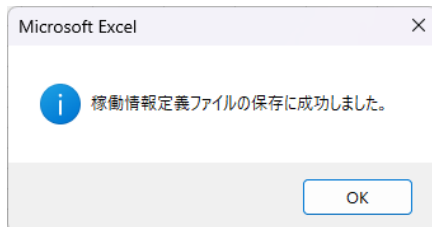


定義ファイル生成 (CSV)

Android 端末 (スマートフォン) へ転送するための定義ファイルを生成します。

「定義ファイル生成 (CSV)」ボタンをクリックすると、ファイル保存ダイアログが表示されます。

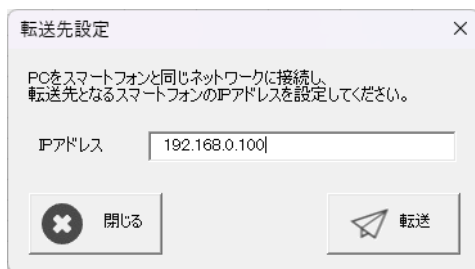
保存先を選択し、保存が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



定義ファイル転送

Android 端末 (スマートフォン) へ定義ファイルを転送します。

「定義ファイル転送」ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

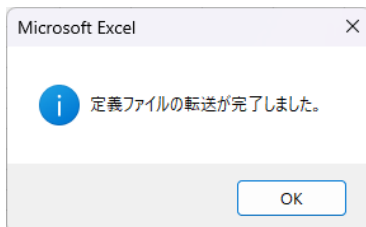


PC と Android 端末 (スマートフォン) を同じネットワークに接続し、Android 端末 (スマートフォン) の IP アドレスを入力します。

このとき、Android 端末 (スマートフォン) ではアプリを起動した状態にしておきます。

「転送」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

選択して転送が実行され、完了すると、以下のメッセージが表示されます。



補足：デバイス定義について

V.1.0.0 では、以下の定義に対応していません。(今後のバージョンにて実装予定)

T(タイマ) / C(カウンタ) / ダブルワード / 浮動少数型

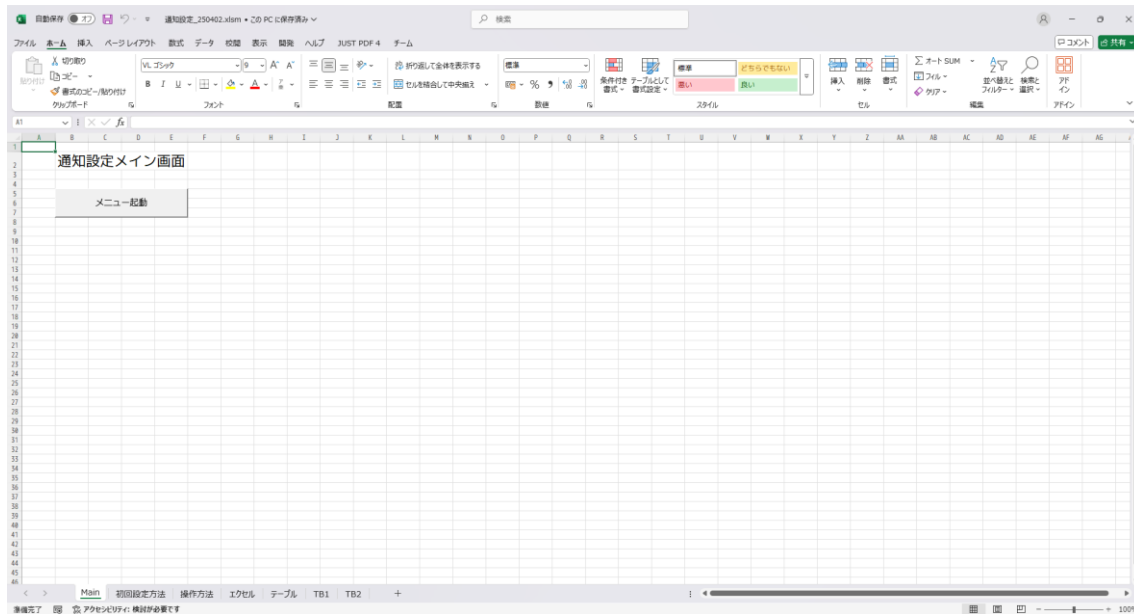
15. Excel:通知設定ファイルについて

NODE には、Android 端末(スマートフォン)へ設備通知を送信するための定義ファイルが必要となります。

● 基本画面

PC 上で「通知設定.xlsx」ファイルを起動すると、以下の画面が表示されます。

※Excel がインストールされている PC から起動してください。



各シートの内容は以下のようになります。

1	Menu	メニューを表示する画面
2	初回設定方法	稼働情報ファイル初回起動時の設定方法
3	操作方法	定義ファイルの転送方法
4	エクセル	設備通知の内容定義 ※定義例が数行記載してあるため、不要であれば削除してください。
5	TB1,2...	通知内容に入れ込むテーブル定義 ※定義例のシートのため、不要であれば削除してください。

● 操作方法

Menu シートの「メニュー起動」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。

定義ファイルの転送 はここから操作を行います。

通知設定ウィンドウの詳細

通知設定

IPアドレス: 192.168.0.200

ポートNo.: 21

ユーザー名: user

パスワード: pass

定義ファイル転送

バージョン情報

閉じる

- ・IP アドレス,ポート No,ユーザー名,パスワード
転送対象の NODE 情報を入力します。
- ・定義ファイル転送
定義ファイルを NODE へ転送します。
- ・バージョン情報
バージョン情報を表示します。
- ・閉じる
メニューを閉じます。

定義ファイル転送

NODE へ定義ファイルを転送します。

「定義ファイル転送」ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

定義ファイル転送

定義ファイルを作成し、ノードへ転送を行います。
よろしいですか？

実行

キャンセル

PC と NODE を同じネットワークに接続し、NODE の IP アドレス、ポートなどを入力します。

「実行」ボタンをクリックすると、転送が実行されます。

転送が完了すると、以下のメッセージが表示されます。

定義ファイル転送

定義ファイルの転送が正常に完了しました。
ノードを再起動してください。

OK

補足：デバイス定義について

V.1.0.0 では、以下の定義に対応していません。(今後のバージョンにて実装予定)

T(タイマ) / C(カウンタ) / ダブルワード / 浮動少数型

● 定義時の注意点

本システムは、KEYENCE 製および三菱製の PLC に対応しています。なお、三菱製 Q シリーズ PLC から SD210～を使用し、時計データを取得する場合に以下の点をご注意ください。

① SM213 のデバイスが ON(=1)になっていること

SM213 は、時計データを有効化するためのビットデバイスです。

ON になっていない場合、リアルタイムの時計データが反映されないため、ご注意ください。

② SD210～212 のデバイスを参照すること

時計データは、SD210～SD212 の 3 つのデバイスに格納されています。

それぞれのデバイスには、2 桁の数値が上下 1 バイトずつ、16 進形式で格納されています。

デバイス	内容
SD210	年月 (YYMM)
SD211	日時 (DDHH)
SD212	分秒 (MMSS)

そのため、定義ファイルには以下のように設定をしてください。(赤枠の部分)

接続先PLC	IPAddress	PortNo	
三菱	192.168.177.100	5000	
設備名			
設備A			
時計データ	デバイス種類	デバイスアドレス	データ型
year	SD	210	BIN
month	SD	210	BIN
day	SD	211	BIN
hour	SD	211	BIN
minute	SD	212	BIN
second	SD	212	BIN

16. NODE-TOOL Config: NODE ツール設定アプリについて

「NODE-TOOL Config」は NODE に対して SSH 接続を行い、NODE 本体の有線 LAN・無線 LAN の IP アドレスを簡単に変更できるツールです。

本ツールをご使用の際は、設定ミスによる接続トラブルを防ぐため、オプション品「NODE ツール設定アダプタ(END-PTAP1)」の使用を推奨します。

● 基本画面

The screenshot shows the NODE-TOOL Config application window. It has a menu bar with 'ファイル', 'ウィンドウ', and 'ヘルプ'. The main area is divided into four sections, each with a red box and a number:

- 1. Node設定**: Includes fields for IPアドレス (192.168.0.200), ユーザー名 (user), and パスワード (pass). A '接続確認' button is on the right.
- 2. 無線LAN設定 (wlan0)**: Includes fields for SSID (TP-Link_F25A), パスワード (78500716), 認証方式 (WPA-PSK), IPアドレス (192.168.0.211), ゲートウェイ (192.168.0.1), and DNSサーバー (8.8.8.8). A '設定更新' button is on the right.
- 3. 有線LAN設定 (eth0)**: Includes fields for IPアドレス (192.168.177.200), ゲートウェイ (192.168.177.1), and DNSサーバー (8.8.8.8). A '設定更新' button is on the right.
- 4. 実行ログ**: A text area showing a log entry: '2025/05/13 11:03:38.417 ソフトを起動しました.'

1. NODE 設定

接続対象の NODE の設定を入力します。

2. 無線 LAN 設定 (wlan0)

変更する無線 LAN の設定を入力します。

3. 有線 LAN 設定 (eth0)

変更する有線 LAN の設定を入力します。

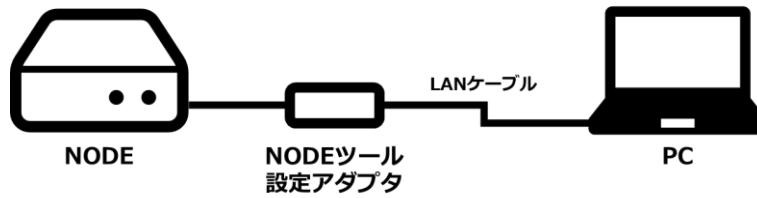
4. 実行ログ

実行時のログを表示します。

- 操作方法

- ① NODE と PC を接続

NODE ツール 設定アダプタ(END-PTAP1)と PC を LAN ケーブルで接続します。



NODE ツール 設定アダプタ(END-PTAP1)の外観図



- ② 必要な設定内容を入力

【「1. NODE 設定」の入力項目】

1. Node設定		接続確認
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.200"/>	
ユーザー名	<input type="text" value="user"/>	
パスワード	<input type="text" value="pass"/>	

IP アドレス … NODE ツール 設定アダプタの IP アドレスを入力します。

ユーザー名 … 「user」を入力します。

パスワード … 「pass」を入力します。

【「2.無線 LAN 設定」の入力項目】

2. 無線LAN設定 (wlan0)		設定更新
SSID	TP-Link_F25A	
パスワード	78500716	
認証方式	WPA-PSK	
IPアドレス	192.168.0.211	
ゲートウェイ	192.168.0.1	
DNSサーバー	8.8.8.8	

- SSID … 無線 LAN を識別するための名前を入力します。
- パスワード … 無線 LAN のパスワードを入力します。
- 認証方式 … 無線 LAN の認証方式を指定します。
(通常は WPA-PSK です。)
- IP アドレス … 無線 LAN の IP アドレスを入力します。
- ゲートウェイ … 無線 LAN のゲートウェイを入力します。
(192.168.xxx.1 が一般的です。)
- DNS サーバー … 無線 LAN の DNS サーバーを入力します。
(ローカル LAN の場合、設定は不要です。)

【「3.有線 LAN 設定」の入力項目】

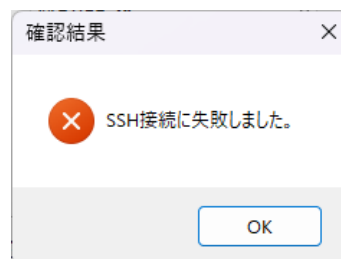
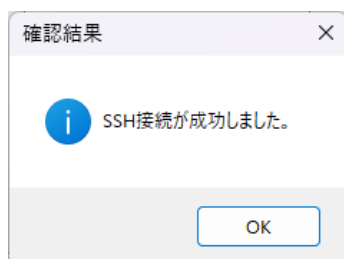
3. 有線LAN設定 (eth0)		設定更新
IPアドレス	192.168.177.200	
ゲートウェイ	192.168.177.1	
DNSサーバー	8.8.8.8	

- IP アドレス … 有線 LAN の IP アドレスを入力します。
- ゲートウェイ … 有線 LAN のゲートウェイを入力します。
(192.168.xxx.1 が一般的です。)
- DNS サーバー … 有線 LAN の DNS サーバーを入力します。
(ローカル LAN の場合、設定は不要です。)

③ 接続確認ボタンを押す

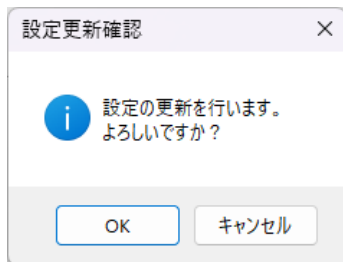
対象の NODE に対して接続が行えるか確認します。

接続成功時は左側、接続失敗時は右側のメッセージが表示されます。

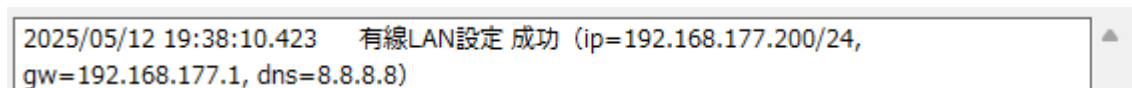


④ 設定更新ボタンを押す

確認メッセージが表示され「OK」を選択すると更新が行われます。

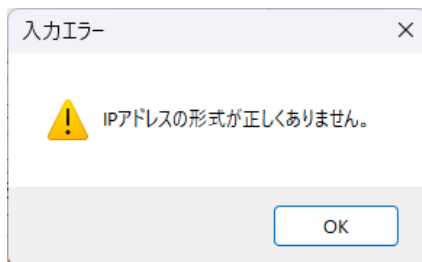


完了すると、ログに更新結果が表示されます。



入力内容が不正な場合、警告メッセージを表示しますので正しい内容を再入力してください。

例) IP アドレスが不正だった場合



補足：設定した内容について

設定した内容は、アプリ終了時に自動保存されます。

次回起動時に、設定内容が読み込まれた状態でソフトが起動します。

17. ログの収集方法

NODE, Android 端末(スマートフォン)は実行時にログを出力しています。

エラーや不具合があった場合、ログを元に原因の特定を行います。

※ Version 2 で、NODE ツール設定アプリに NODE のログ取得機能を実装予定です。

● NODE の収集方法

無線 LAN または有線 LAN で PC と NODE を接続した状態で、NODE の電源を入れます。

コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行します。(入力→Enter キーで実行)

ログのコピー要求

```
scp -r user@192.168.0.201:/home/user/Application/WebServer/Logs Z:¥
```

末尾の「Z:¥」はコピー先となるため、任意のパスを指定してください。

実行すると、NODE 内の「Logs」フォルダ内のファイルがすべてコピーされます。

```
user@192.168.0.201's password:
app.log.2025-03-24      100% 22KB 823.1KB/s  00:00
app.log                100% 182  11.1KB/s   00:00
```

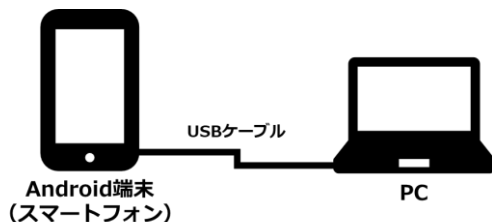
補足：1 ファイルだけコピーする場合

コマンドを実行する際に、scp の次の「-r」を消し、「Logs」の次に保存対象のファイル名を指定します。

```
scp user@192.168.0.201:/home/user/Application/WebServer/Logs/app.log Z:¥
```

● Android 端末(スマートフォン)の収集方法

PC と Android 端末(スマートフォン)を USB ケーブルで接続します。



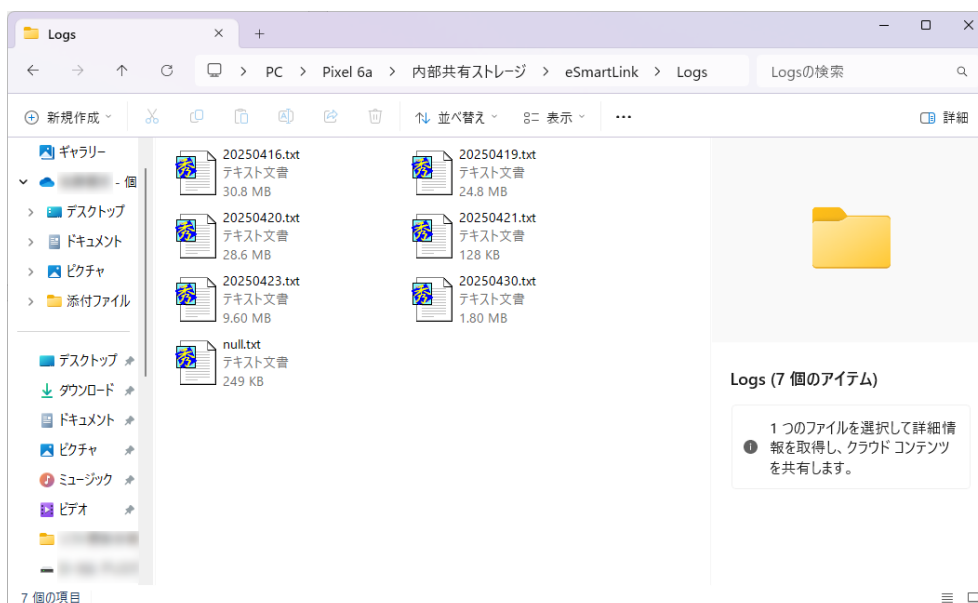
Android 端末(スマートフォン)の通知に「USB ファイル転送モード ON」という通知が表示されるため、選択します。



「ファイル転送 / Android Auto」を選択します。



PC 上でエクスプローラーが起動するため、「内部共有ストレージ > eSmartLink > Logs」を開きます。該当の日付のログファイル(例. 20250416.txt)を PC のローカルにコピーして保存します。



18. ライセンス情報

本製品は、以下のオープンソースソフトウェアを使用しています。以下に示す各ソフトウェアは、それぞれのライセンスに基づいて利用しています。各ライブラリの著作権およびライセンス条項は、以下のリンクよりご確認ください。

- **Android 端末(スマートフォン)**

OkHttp

Version	4.10.0
License	Apache License 2.0
URL	https://github.com/square/okhttp/blob/master/LICENSE.txt

ViewPager2

Version	1.0.0
License	Apache License 2.0
URL	https://developer.android.com/jetpack/androidx/releases/viewpager2

- **NODE**

Python

Version	3.9.2
License	PSF License
URL	https://docs.python.org/3/license.html

websockets

Version	15.0.1
License	BSD 3-Clause License
URL	https://github.com/python-websockets/websockets/blob/main/LICENSE

- **NODE-TOOL Config**

SSH.NET

Version	2025.0.0
License	MIT License
URL	https://github.com/sshnnet/SSH.NET/blob/develop/LICENSE